

一般質問日程 6月13日(金)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
1	10	荒 川 礼 子	1. 5歳児健診について (1) 5歳児健診について 本市では、4ヶ月、8ヶ月、1歳半、3歳児健診のほか、12ヶ月児健康相談や2歳児歯科検診を実施されるなど、出産から子育てまで切れ目なく、きめ細やかな子育て支援をして頂いていることにまず敬意を表します。その上で、更に近年増加傾向にある発達障がいなど、特別な配慮が必要なお子さんの早期発見や、早期介入を実施することで、保護者の課題への気づきや生活への適応が向上する可能性などが指摘されている5歳児健診の実施に向け本市の考えを伺います。 2. 女性に配慮したAED使用について (1) 女性に配慮したAED使用について 総務省によると、令和5年中に一般市民が目撃した、心原性心肺機能停止傷病者数は2万8,354人で、そのうち一般市民が心配蘇生を実施したのは1万6,927人、約6割になります。 AEDを使用した1ヶ月生存者の割合は54.2%で、1ヶ月後社会復帰者が44.9%となっており、これはAEDを含む心肺蘇生を実施しなかった場合と比べると、1ヶ月生存者数が約2.0倍、1ヶ月後社会復帰者数が約2.9倍となりAEDを含む心肺蘇生の有効性が表れています。更に別の研究グループの調査によると、AEDを使ってもらえた割合が男性の方が明らかに高く、特に若い女性は同年代の男性と比べて低いことが分かっています。日本AED財団によると、電気ショックが1分遅れるごとに救命率は約10%ずつ低下すると言います。そこで、女性にもためらわずにAEDを使用出来るよう、プライバシー保護を目的とした三角巾をAEDに配備する自治体が増えていますが本市の対応を伺います。

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 6月13日(金)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
1	10	荒 川 礼 子	3. 認知症の人に寄り添ったユマニチュードの普及について (1) 認知症の人に寄り添ったユマニチュードの普及について 内閣府のホームページを見ると、令和4年における認知症の高齢者数は443.2万人(有病率12.3%)、軽度認知障害(MCI)の高齢者数は558.5万人(有病率15.5%)と推計され、このままの推移でいくと65歳以上の人口がピークを迎える2040年には認知症患者数が584万人、軽度認知障害数が612万人と推計されます。誰もが認知症になり得るという認識のもと、認知症の人を含めすべての人がその尊厳を認め合い共に支え合って生きる共生社会の実現を目指すための具体的な取組が益々重要となります。そこで、認知症の人の行動・心理症状(BPSD)の発生を抑制する効果的な技法である「ユマニチュード」の普及を促進することが有効と捉えますが見解を伺います。
2	21	大 島 浩	1. 移住・定住について (1) 移住・定住について 当市において少子高齢化、人口減少は大変深刻な問題となっています。人口増加につなげていくためにも移住を促進していくことについては今までも多くの議員の皆さんが質問をしている喫緊の課題であります。非常に難しい取組なのだと思いますが、ふるさと回帰支援センターが調べた県別の移住希望者数において、2022年から2024年の3年間、栃木県は全国で3位の位置をキープしております。栃木県には移住を考えている人にいい印象を与える要素があるということだと思います。当然日光市にもそのポテンシャルはあります。人口を増やしていくことはもちろんであります。一方で当市は転出超過の問題も深刻であります。いずれにおいても市の魅力を発信していくことはもちろんのこと、住んでみたい、住んでよか

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 6月13日(金)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
2	21	大 島 浩	ったと思ってもらうような街の整備、磨き上げを強化していくことが重要であると考えます。このようなことから以下の項目について伺います。 ①移住促進の主な取組について ②転出超過の要因について 2. 植樹400年を迎える杉並木について (1) 植樹400年を迎える杉並木について 今年、植樹400年の節目を迎える日光杉並木であります。日本で唯一、特別史跡と特別天然記念物の二重指定を受け、日光市の観光資源にとって非常に重要な役割を担っていることは言うまでもありません。 400年という長い歴史の中で、社会状況は劇的な変化があったことと思います。通行止め区間を設定せざるをえない状況や木の成長に伴う市民生活に影響を及ぼす問題等があると思います。400年の節目に様々な事業を考えていることと思いますが、いずれにしても共生していかななくてはならないことだと思います。そこで以下の項目について伺います。 ①植樹400年事業の概要 ②現状の問題について 3. 日光市の交通安全対策について (1) 日光市の交通安全対策について 大型連休が終わり、日光市にもたくさんの観光客の皆さんが訪れてくれました。円安の影響などで外国人観光客の姿が目立ったようにも感じます。要因は様々かと思われそうですが、勢いのあるゴールデンウィークであったと思います。 しかしながら、今年の連休中の報道番組などにおいて目立ったのは、全国においてさまざまな自動車事故が多発したことではないかと思います。特に飲酒運転の事故は衝撃的な映像とともに報道されました。日光市は観光客の皆さんに観光資源や温泉、宿泊といった

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 6月13日(金)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
2	21	大 島 浩	サービスを提供していくわけですから、当然、飲食、飲酒といったことは切っても切れない関係性があると思います。 日光市として、悲惨な事故につながる飲酒運転等の注意喚起に取り組むべきと考えますが、市の見解を伺います。 4. 船村徹記念館の用途変更について (1) 船村徹記念館の用途変更について 令和7年度は日光街道ニコニコ本陣が10周年を迎え、また、令和8年度に船村徹記念館の用途変更が可能になります。2月定例会において福田悦子議員が質問しましたが、瀬高新高市長は用途変更についてどのような考えを持っているのか改めて伺います。
3	4	福 田 悦 子	1. 「宿泊を伴う校外学習」における食物アレルギー対応について (1) 「宿泊を伴う校外学習」における食物アレルギー対応 当市の児童生徒の食物アレルギー対応として、日光市小・中学校食物アレルギー対応マニュアルに基づき、対象児童生徒の状況を把握した上で、各学校及び給食センターの環境に応じた給食の提供に努めている。また、アレルギー症状が表れた際、迅速かつ適切な対応が確実に行えるよう、各学校において教職員の共通理解を図るとともに、模擬訓練なども実施。さらに、毎年夏休みの期間中に食物アレルギーの専門医を講師として招き、食物アレルギー対応研修も実施するなど対応策を図っている。 このように学校給食における食物アレルギー対応は、アレルギーのある児童生徒の増加に伴い、学校における重要課題の一つであり、それと同様に、宿泊を伴う校外学習時の対応も重要である。 文部科学省の「学校におけるアレルギー疾患対応」では、宿泊を伴う校外活動は日常に比べ食物アレルギー

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 6月13日(金)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
3	4	福田悦子	一の症状誘発が起きやすい状況にあるとし、2つの柱として①食事の配慮②緊急時の受診先の確認と確保をあげている。 そこで、「宿泊を伴う校外学習」における食物アレルギー対策について伺う。 2. 市営住宅入居時の連帯保証人廃止について (1) 市営住宅入居時の連帯保証人廃止 国土交通省は2018年、低所得者に住宅を提供する目的を踏まえ、公営住宅への入居に保証人を求めない方針を打ち出し、2020年にも改めて「公営住宅への入居に際しての保証人の取扱いについて」通知し、「住宅に困窮する低額所得者に住宅を提供するといった公営住宅の目的を踏まえると、保証人の確保が困難であることを理由に入居できないといった事態が生じないようにしていくことが必要である」として、保証人の取扱いについて検討するよう求めている。 国土交通省の2024年4月1日時点の「公営住宅への入居に際しての保証人の取扱い等に関する調査」では、政令市の100%、中核市の46.8%、その他25.3%が保証人を求めている。政令指定都市を中心に、各自治体で連帯保証人廃止の動きが広がっている。これは、身寄りがなく、保証人の確保が困難という理由で入居ができない高齢単身者が増えたためである。住宅に困窮する低額所得者に住宅を提供するといった公営住宅の目的を踏まえ、連帯保証人制度の廃止を求めるが、市の見解を伺う。 3. 放射性物質汚染廃棄物の処分について (1) 放射性物質汚染廃棄物の処分 2011年3月11日に起きた東日本大震災、それに伴い発生した原発事故により起きた放射性物質は関東地方にも拡散。当市では、学校や公園、公共施設、住宅、商業施設など、区域内外合計1,215か所で除染作業を実施。除去した汚染土壌は約2万1,000立方メートルで、全て除去した敷地内に保管されている。

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 6月13日(金)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
3	4	福 田 悦 子	今年3月に某新聞が、「日光市内公園の外れの盛土の下にフレコンバック270袋が入っている」と報道。さらに「市は、埋め立て場所の検討や除染土壌を置く家庭から聞き取りを行う方向で準備に入った」とも報道している。初期の国の方針では、県外の汚染土壌は各県内で埋め立て処分されることになっている。今後、国から処分に関する指針が出るが、放射性物質汚染廃棄物処分に関し、市の対応を伺う。 4. 平和に対する市長の政治姿勢について (1) 平和に対する市長の政治姿勢 戦後80年の年、日本の針路が根本から問われている。 日本は、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意」した憲法のもとで、戦後の歩みを始めた。しかし、この間、集団的自衛権の行使を容認する「閣議決定」と安保法制を強行し、5年間で43兆円もの大軍拡に突き進み、軍事費だけが突出する異常な予算がすでに3年も続いている。また「敵基地攻撃」のために、統合作戦司令部を創設し、事実上、自衛隊を米軍の指揮統制下に組み込む体制づくりまで進められている。 このように憲法の平和原則を根底から覆す暴挙を断じて許すことはできない。 ①戦争か平和か、日本の進路が大きく問われている 今、現在のこの国のこのような状況について、市長の認識を伺う。 ②敵基地攻撃能力保有は憲法9条に相反すると考えるが、今後改憲論争の焦点になるであろう憲法9条改悪について、市長の認識を伺う。
4	20	嶋 田 正 法	1. 観光振興を目的とした、新たな税制の導入について (1) 観光税について 観光は日光市において、大変重要な産業であり、これまで様々な観光振興施策が展開されてきました。近

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 6月13日(金)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
4	20	嶋 田 正 法	年続いたコロナ禍も収束し、観光客数も一定の回復傾向にあります。 一方で、観光の拡大に伴って生じる公共サービスの需要、観光地の環境保全、インフラ維持などへの対応には、相応の財政的裏付けが必要です。現在の財源のみでは、今後さらに高度化・多様化する観光ニーズへの対応が難しくなる可能性もあります。 こうした背景を踏まえ、観光を地域の持続可能な産業として育てていくための安定財源の一つとして、宿泊税の導入について前向きに検討を始めるべきではないかと考えます。ただし、課題も多く、慎重な議論と段階的な検討が必要であることは言うまでもありません。しかし、宿泊税は、全国の観光地を中心に導入が進んでおり、徴収した税収を観光振興や環境整備に充てる例が多く見られます。 本市として、こうした動向をどのように捉え、宿泊税の導入検討をどのような位置づけで捉えておられるか、基本的な考えをお伺いします。 2. 使用済みマンホール蓋の売却による収益化、市制20周年記念蓋の制作、水道メーターのセルフ検針による料金引き下げについて (1) マンホール蓋について マンホール蓋とは、人や物が誤ってマンホールに落下するのを防ぐとともに、関係者以外の侵入を防止するために、マンホールの開口部にはめ込まれる着脱可能な蓋のことです。 近年、このマンホール蓋が「路上の芸術」として注目を集めており、「マンホーラー」や「蓋女」といった言葉も生まれるなど、全国各地のマンホール蓋を鑑賞する愛好家が存在しています。現在では、マンホール蓋に特化したイベント「マンホールサミット」も、全国各地で毎年開催されています。各自治体などでは、様々な節目を記念してデザインマンホールを制作しています。また、使い終えたマンホール蓋は売却し収益化しています。

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 6月13日(金)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
4	20	嶋 田 正 法	そこで、本市におけるマンホール蓋について、以下の点についてお伺いします。 ①設置されているマンホール蓋の件数 ②マンホール蓋の耐用年数 ③交換が必要となった場合の、使用済マンホール蓋の処分方法 (2) 水道メーターの検針について 水道は私たちの暮らしと命を支える、最も基本的で不可欠なインフラの一つです。安定した水の供給体制を維持するためには、効率的な運用がますます求められています 一方で、従来の人手による検針業務は、人口減少や働き手の確保が難しくなる中で、将来的に持続が困難になることが予想されます。そのような中、市民参加型の水道検針アプリを構築した自治体もあります。今後限られた人員・財源の中で、より効率的な水道事業運営を目指し業務の見直しを進めていく必要があると考えます。 そこで本市における水道の検針業務について以下の点についてお伺いします。 ①検針件数 ②検針員の人数 ③検針員の平均年齢

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時